

【市長定例記者会見資料】

令和7年2月14日

財務部

財政課（担当：前花）

直通：079-559-5018 内線：2135

三田市未来への財政ロードマップ(骨子)

～ 未来への一歩を こどもたちのために ～

令和7年2月

三 田 市

1. 策定趣旨

本市は、令和5年3月に三田市行政経営方針(令和4年度～8年度)を策定し、まちの成熟など本市を取り巻く課題に適切に対応するとともに、目覚ましい速さで変化する今日の社会に適応した新たな行政のあり方へと転換を図るために、様々な取り組みを進めることとしていた。

しかし、その後、物価等高騰の影響が拡大し長期化する中、財政硬直化の懸念が改めて明らかになったため、財政持続性を高め財源を確保することで重点化した取り組み(こどもを核としたまちづくりなど)を進めるべく、令和6年8月に三田市財政構造改善骨子(以下、「財政構造改善骨子」という。)を作成し、令和7年2月には財政構造改善プログラムの成案を公表することとしていた。

そのような中、本市の重大プロジェクトの一つである三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合による新病院(以下、「新病院」という。)の概算整備費が大幅に増加することが明らかとなり、将来的な市の財政負担が大きくなることが見込まれるため、財政構造改善骨子で想定していた前提条件との乖離が生じることとなった。

本市は、このような状況の中でも、社会の変化に適切に対応し、かつ、三田市独自の施策や事業を実施できるだけの財政の弾力性を維持しながら、実質的な収支均衡を図り、将来の財政負担を見越した備えを行う必要がある。

このロードマップは、その目標を達成するために必要な取組方針を示すものであり、具体的な取組は令和7年8月を目途に市民の皆さんにお示しする予定である。

2. 目指すもの

三田市未来への財政ロードマップ(骨子)

～ 未来への一步を こどもたちのために ～

本市では、子ども・若者の減少が続いており、このままでは本市の活力は衰退するという危機感がある。また、新病院をはじめ今後の財政負担の高まりは、財政の弾力性を著しく低下させる懸念がある。いま大切なことは、これらまちの課題をできるだけ多くの人たちと共有したうえで、“志向するまちの姿”※に向かって、ともにまちづくりを進めることである。

三田市未来への財政ロードマップ(以下、「財政ロードマップ」という。)という名称は、その“志向するまちの姿”を実現するための道しるべという意味が込められている。

また、サブタイトルには、まちづくりに関わるすべての人たちが、これからの変化を前向きにとらえ、“志向するまちの姿”の実現に向けた取組を進めていくという思いが込められている。

※志向するまちの姿

- (1) このまちで子どもを産み、育てることができて良かったと思えるまち
- (2) 子どもが、大人になってもこのまちなら学びや交流などを通じて成長できると思えるまち
- (3) 子どもが、どんな状況にあっても、このまちなら生涯にわたって自分らしく生き生きと暮らすことができると思えるまち
- (4) 子どもにとって、安全かつ安心して生活できるインフラ、家庭・地域・教育・自然環境が整っているまち

3. 財政ロードマップの取組方針

取組方針

- 財政収支の改善を優先しつつ、“志向するまちの姿”を実現するための施策・事業を厳選して実施する。
- 三田市の未来にとって欠かせない新病院整備をはじめ、大規模投資事業等による将来の財政負担を見越し、計画的かつ着実に備えていく。
- 人口減少抑制施策を通じて歳入確保へ積極的に取り組み、安定的な財源の確保を目指す。

(説明)

- 市財政収支見通しでは、令和7年度～16年度の10年間で約93億円の収支不足となり、この収支不足を解消するための取組が必要になる。
- そのため、今後は限られた財源を効果的に配分するために、財政収支の改善を優先しつつ、“志向するまちの姿”を実現するための施策・事業を厳選して実施する。
- 新病院は、“志向するまちの姿”の重要な構成要素ではあるが、その整備にかかる財政負担は、新病院が開院(令和12年度中を予定)して数年後から大幅に増える見込みであり、そのすべてを将来の現役世代だけで負担することは困難である。
- そのため、上記の収支不足の解消に加えて、新病院整備にかかる財政負担がピークを迎える時期までに、費用の一部を基金として積み立てておくなど、将来の財政負担を見越し、計画的かつ着実に備えていく。
- 上記の取組を着実に進めるためには、歳出削減だけで対応することは困難である。
- そのため、今後は人口減少抑制施策を通じて歳入確保へ積極的に取り組み、安定的な財源の確保を目指す。

4. 財政ロードマップの骨子

(1) 取組目標

- 令和16年度までに歳出を減少、歳入を増加させ、財政調整基金を取り崩さずに一般財源ベースでの収支均衡を図る。
- 新病院整備にかかる財政負担への備えとして新たに基金を設置し、令和16年度までに60億円を確保する。その原資として、毎年度3億円を積み立てるとともに、既存の年度間財源調整基金を30億円活用する。

(2) 取組期間

令和7年度～令和16年度の10年間

第1次実行計画	第2次実行計画	第3次実行計画
令和7年度～9年度 (3年間)	令和10年度～12年度 (3年間)	令和13年度～16年度 (4年間)

(3) 主な取組項目

志向するまちの姿の実現に向けて、今後10年間にわたり切れ目ない取組を進めていくにあたり、成果を最大化させるための主な取組項目を以下に例示する。

① 歳入確保に関する取組

ア. 寄附・クラウドファンディングの活用

- ・ふるさと納税(企業版を含む)の強化
- ・ガバメントクラウドファンディングの活用

イ. 市有財産の有効活用

- ・市有財産の売却または貸付
- ・ネーミングライツ(命名権)・広告スペースの販売

ウ. 受益者負担の適正化

- ・使用料の適正化
- ・手数料の適正化

②歳出の適正化に関する取組

ア. 内部事務の見直し

- ・事務経費の削減
- ・公用車の台数見直し

イ. 総人件費の抑制

- ・働き方改革による時間外勤務手当の削減

ウ. 市民の利便性向上と窓口業務の効率化

- ・スマート市役所の推進（行かなくてもよい・書かなくてもよい・待たなくてもよい）
- ・窓口業務の運用見直し

エ. 事務事業の最適化

- ・施策を超えた類似事業等の整理
- ・地域社会の変化を踏まえた事業手法のアップデート
- ・事務事業の選択と集中

③ その他、中・長期の取組等

ア. 公共施設の最適化

- ・サービスの質の充実を前提とした総量削減及び維持管理の効率化
- ・機能の集約化・複合化など

イ. 公債費負担の平準化

- ・投資事業の実施時期の検討
- ・有利な財源確保

ウ. 人口減少抑制に資する取組

- ・人を呼び込む取組
- ・産まれる子どもを増やす取組
- ・雇用(仕事)を増やす取組
- ・住みやすくする取組

エ. 社会課題解決に向けた行政と事業者の共創

- ・公民連携による新たなスキームの構築

オ. 特定目的基金の積み立て

- ・(仮称)新病院整備基金の設置と積み立て

5. 今後の流れ

令和7年2月～	具体的な取組検討
令和7年8月	<u>三田市未来への財政ロードマップ(案)及び第1次実行計画(案)公表</u>
令和7年9月以降	パブリック・コメント、意見交換会
令和7年10月～	令和8年度予算編成（第1次実行計画反映）

6. 成果の検証と進行管理

毎年度、取組目標の進捗状況を把握し、成果の検証を行い、検証に基づく見直しや改善など PDCA サイクルを確立することで取組の実効性を高めていく。

なお、成果の検証内容によっては必要に応じ、目標達成に向けた取り組み内容を見直す(最適化)。

No.	項目	令和7年度				令和8年度				令和9年度			
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
-	予算編成 (実行計画)			Plan			Plan					Plan	
1	取組検討・第1次実行計画 公表	★											
2	取組実施		Do			Do				Do			
3	成果の検証と見直し・改善				Check/ Action				Check/ Action				